



学校だより

学校教育目標

○優しい子

○考える子

○元気な子

小川町立小川小学校

令和4年7月1日 第4号

文責 校長 須郷 聖子

『優しい子・考える子』

観測史上最も早い、梅雨明けとなり、厳しい暑さが続いております。感染症、熱中症に気をつけながら、子供たちは元気に校庭を走り回り、汗をたっぷりかいています。



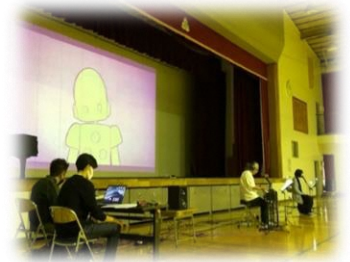
さて、夏休みまで、1ヶ月足らずとなりました。早いもので1学期のまとめの時期となりました。毎日慌ただしく過ぎてしまっているかと思いますが、それぞれの学年でこの時期に学んでおかなければならないことは、しっかり身につけてほしいと思います。

先日、臨時の全校朝会を開きました。体育館で全校が集まるのは久しぶりです。

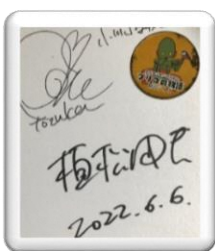
学校で困ったこと・・・『落書き』や『下駄箱の靴が移動している』行為があったからです。どうしても、児童に直接話をしたくて実施いたしました。そこで、児童に伝えたことは、学校教育目標にある「優しい子」、相手のことを思いやる心、相手の立場に立って行動できる心をもって欲しいということ。また、友達を大切にして欲しいということ。それから正しい判断ができる子「考える子」になって欲しいということ。自分の行動に責任をもって行動できる人になって欲しいということです。そして、私が児童に向かって最後に伝えたかった言葉は、みんなが「優しい子」「考える子」であることを信じていること。教職員はみんなのことをいつも大切に思っているということです。子供たちはとても真剣に話を聞くことができました。

朗読ライブ ブリコのお話

世界的にも有名なゲーム、ファイナルファンタジーの音楽を手掛けている、作曲家の植松伸夫氏を迎え、声優の戸塚利絵さんとともに6年生対象に朗読ライブを開催しました。学校でのライブ開催は植松氏自身初めての取り組みということで、テレ玉ニュースや埼玉新聞にも取り上げられました。ブリコのお話は植松氏が書いた人間の心をもったブリキロボットの心温まる物語です。植松氏の演奏と声優さんの朗読に、児童は大変感動した様子でした。最後に有志のメンバーから、鍵盤ピアノでファイナルファンタジーを演奏して、感謝の気持ちを伝えました。【YouTube テレ玉ニュース ファイナルファンタジー でもご覧になれます】



児童の感想



- ・音楽と物語が一緒になって感動しました。 ・植松さんの演奏がすごかったです。
- ・声優さんがいろいろな声を出してビックリしました。ブリコの想いがしっかりと伝わり物語に引き込まれる感じがしました。 ・声の変わり、声の強弱、本物は違うなって感じました。ブリコの気持ちが伝わる迫力に鳥肌がたちました。 ・ブリコの物語を聞いて、大切な人に自分の気持ち、想いが伝えられるって幸せなことなのだと思います。 ・悲しい気持ちになったり、楽しい気持ちになったりいろいろな気持ちになっていました。まるで私がその世界に入ったみたいでした。



学校の様子



<p>5月31日・6月1日 5年宿泊学習(小川げんきプラザ) 仲間と協力して、楽しく思い出に残る体験が出来ました。キャンプファイヤーでは、炎を囲んでみんなで盛り上がりました。炎に照らされた笑顔が輝いていました。また、2日目には飯盒炊飯を実施しました。自分たちで炊き上げたご飯は、少し焦げていてもいつもより美味しく感じたはずです。家庭から離れ、友達と一緒に宿泊した体験は、日頃の自分を見つめなおす機会にもなりました。</p>		<p>6月2日(木) 全校ふれあいゲーム集会 雨で順延していましたが、全校で1年生を迎え、代表委員が中心となって、ふれあいゲームを実施しました。1年生が最後にダンスを披露しました。</p>
<p>6月3日(金) プール開き 最近、気温が高く水泳が中止となることもあります。水の事故がないように、どの学年も学習のきまりを守って、気持ちよく入水しています。健康観察と共に、水泳カードのご提出をお願いいたします。</p>	<p>6月20日(月) 3年おがわ学(オオムラサキ) ゲストティーチャーから、オオムラサキのことをたくさん教えていただきました。実際に幼虫やサナギを見たあとに放蝶もさせていただきました。</p>	<p>6月25日(木)・26日(金) 4年紙漉き体験 小川町和紙体験学習センターにて、自分で和紙を漉いてみました。出来上がった和紙で、図工の時間に「夢色ランプ」を制作する予定です。</p>

そばにいる仲間と同じ感動を共有し、共に学ぶことができるのは学校だからこそだと思います。様々な体験がきっかけとなり、児童が学びに対して興味関心を持ち、仲間と学び合うことで、自分の考えを確かなものとして考えを深め、実生活に生きる力が身につくことができるようになってくれたらと願います。

今後も、感染症予防の対策を講じながら、子供たちが生き生きと活動できる学校であるよう、取り組んで参ります。

